

建設産業戦略的広報推進協

普通高校進路ガイダンスに初参加

国土交通省や建設業界団体などをつくる建設産業戦略的広報推進協議会（事務局・建設業振興基金）は、18日に埼玉県立鳩ヶ谷高校（埼玉県鳩ヶ谷市）で、情報管理科（各2クラス）の2年生計136人が対象の「普通高校進路ガイダンス」を開催した。会場内に設けられたブースで、各参加団体のブースで1回30分の説明を3回に分けて行う。

鳩ヶ谷高校（埼玉県鳩ヶ谷市）で行われる進路ガイダンスに参加するガイダンスの中で、「建設業ってどんな仕事？」をテーマに進路協は、建設業の仕事が希望する生徒に説明を行う。土木と建築に大別されることから、それぞれを構成する職種ごとの仕事内容や、災害時に地域を守るなど安全・安心な暮らしを守っている役割までを紹介する。職人や技術者として入職した後には、どのような経路をたどって一人前になり、昇格していくかの「キャリアパス」も示す。

18日、埼玉県立鳩ヶ谷高で

同校で事前に希望を募ったところ、協議会ブースへの参加者は17人（1回目4人、2回目6人、3回目7人）となっている。

高校名に誤りあり

正しくは 埼玉県立九鳥山高校